# 千葉県による宿泊業界への就業拡大支援に係る 宿泊事業者からのアイディアや要望(案)について

千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

会員施設よりアンケート回答の集計 30施設より回答

## ●募集方法の確立など

宿泊業・観光業向けの WEB サイトを立ち上げる。

求職者への認知を上げるために、専用サイトや SNS などで広く広告を出す。

業界魅力の発信に係る行政の PR アシスト。

千葉県主体の求人サイトの開設。

フルタイムだけではなく、シルバーや主婦向けのプチ就労の案内支援。

宿泊業界に特化された採用イベントの実施。

異業種や他自治体とのマッチング事業。

求人広告費の補助。

首都圏にある大学、専門学校への説明会を行政主催事業で実施。

高校生(新卒)の募集。(各高校の学生課に行政からの案内)

日本在住又は現地へ出向き、宿泊業希望の外国人に向けて採用イベントの開催。

県内に外国人向けのおもてなし専門学校の設立を学校法人と協力して実現。

高卒者求人のための規制緩和。説明会の実施。

学校とホテル旅館とのパイプを作っていただきたい。

宿泊業界に特化させた採用イベントの開催。

行政として宿泊業の情報提供を行い宿泊業界に特化した採用イベントを

開催して、求職者と企業をつなぐマッチング支援事業を行う。

インターンシップや施設見学会、宿泊業界に特化された採用イベントの実施。

宿泊業界の方との座談会の場を設ける。施設見学の機会を増やす。

入社後の他施設の勉強会を実施する。必要経費の補助を望む。

ブースなどを設けた就職説明会への参加招集や宿泊業に就職した際は奨学金の 利息の免除などの独自のメリットを造成。

観光系、調理系の専門学校向け企業説明会を開催。

県公立高校で実施の就職説明会の実施・参加補助。

施設見学会の実施。

採用コストの補助。

## ●インターシップ制度

制度を整備し、夏休みや冬休みで実施。

大学生はもちろん、高校生や社会人にも広く職業体験ができる環境整備。

社会参画の目的からインターン生の宿泊費補助・奨学金返済の補助。

県内の大学のすべてにおいてこのインターンシップの PR。既に組合では、

和洋女子大学とは毎年実施。

長期のインターン制度も必要。

#### ●寮の整備等、生活の確保

寮の整備費用(空家活用)の補助。

住む環境がないことが問題。地元での空き家対策と旅館就業後の住居環境の 整備を一緒に出来ないか。寮の為の整備に補助金や金利優遇や特別措置。 地元就労でない場合の住まいの優遇支援、家賃の補助など。

そもそもアパートなども近くに無い場合もある。

外国人採用する場合に、1~3か月の試用期間を設け、その際の賃金の補助や 生活を支援するための補助。

社員寮の修繕費などの補助・住宅費補助の補填・車の購入費補助。

## ●労働条件の改善

観光業を国の成長戦略として位置づけるのであれば、労働条件を大きく変える様 な抜本的な策を実施出来ない限り特に若い人材に選ばれる業種になる事 は難しい。

雇用条件や就労環境を業界全体で改善しなければ永遠に解決しない。

副業で宿泊業に勤めることが気楽にできるようにするためのルールを作る。 短時間、週1から OK とか。

副業として宿泊業につきたい人の紹介と賃金の補助。

労働条件の改善と賃金の上昇しかない 新規応募者に県から補助金が出るとか。 各宿での個別努力も必要かと思いますが、業界全体としてこれらの労働基本条件 が改善される施策を望みます。

宿泊業は、収入・休日面で他業界との格差が大きく「選ばれる業種」ではない。 宿泊、飲食アルバイト採用の意見では、クレームが多く、働きたくないとの事。 =募集しても来ない。

募集にあたり他業種との比較でも見劣りしない賃金が必要。旅館業の仕事は 体力的にきついものがあるので、一日短時間で多くの人数を抱えた方が、 体力的に助かる。しかし、結果的に人件費が高くなるので、マッチング ギフト同様に、企業が支払う金額の一部を毎月、県から補助して欲しい。

高騰する社会保険費に関して正社員登用に二の足を踏んでいる状態。

もっと給料以外の福利厚生で学生が求めるものをヒアリングして現場に 落とす仕組みづくり等が必要。

各施設の従業員が県内旅行する際には、予め届け出れば、県から 20 ~ 30 %の 割引を受けられたり、ディズニーや観光施設の大幅割引を受けられる 様な制度を作って頂きたい。

勿論その割引分はその観光施設にバックする(「全国旅行支援」と同じようなシステム)。そうすれば、スタッフは他の宿泊施設での研修もできるし、福利厚生の素晴らしいメリットとなる。

応募があってもホスピタリティの低い方が多いと感じます。良い人材は介護 とかに流れているんでしょうか?

日本人サービス、調理スタッフ不足 5年~10年先の心配が絶えない。